

R7年度 鳥羽志摩中学生総合体育大会(バレーボールの部)要項

1. 日 時 : 6月14日(土) 予備日: 6月21日(土)

2. 会 場 : 文岡中学校 (開館 8:00 開会式 8:50 第一試合開始 9:20)

3. 使用球 : 人工皮革4号検定球カラーボール(ミカサ)

4. 責任者

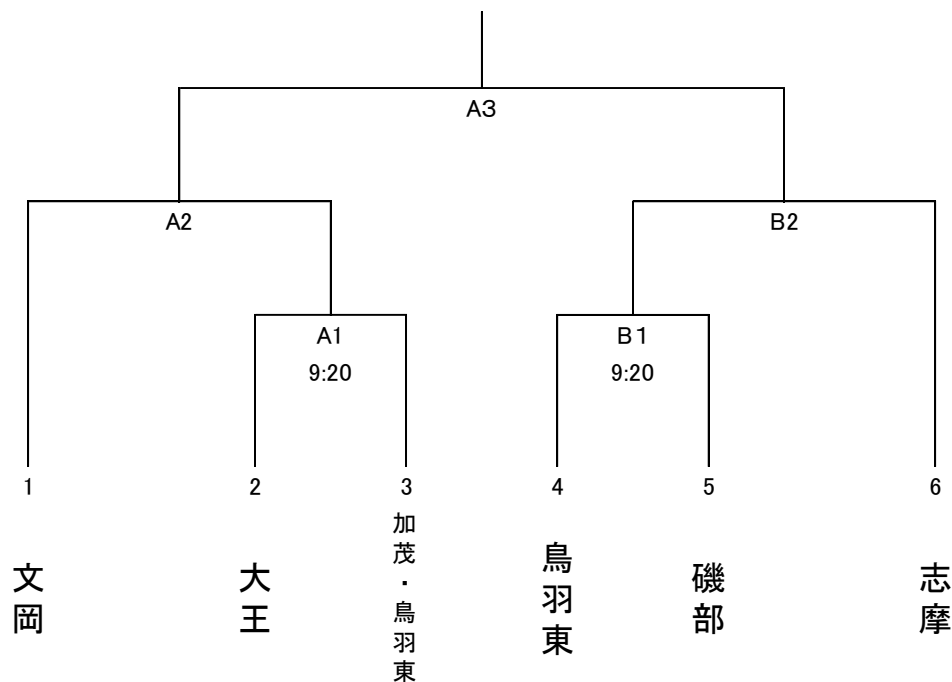
総務	競技	審判	会場	会長	養護	専門部長
上村 鳥羽東中	山本 磯部中	東 文岡中	東 文岡	谷口 加茂中	谷口 加茂中	上村 鳥羽東中

5. ルール : 2025年度(財)日本バレーボール協会制定の6人制規則に則る。

6. 熱中症対策: ・活動場所のWBGTを定期的に(1時間に1回程度)測定する。
・場内アナウンス等により、参加者への熱中症の注意喚起を行う。
・活動場所のWBGTが31℃以上の場合は、一時中断し、中止、延期又は再開することを検討する。
・検討後、再開と判断した場合は、競技開始時間や実施方法の変更、クーリングタイム等の対応を柔軟に行う。その際、選手にとって不利益とならないように注意する。

7. 競技方法: ・全試合3セットマッチとし、トーナメント戦で行う。
・ベンチ入りは、監督、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以内とする。
(必要に応じ、教育的な配慮とする。)
・監督、コーチは当該学校の教職員または部活動指導員とする。ただし、学校長が認めた外部コーチ(継続的に指導にあたり、教育的配慮のできる社会人)のベンチ入りを認める。
マネージャーは当該学校の教職員・部活動指導員・外部コーチまたは生徒とする。
・監督、コーチ、マネージャー、主将は規定のマークを所定(左胸)の位置に付ける。
なお、監督、コーチは服装を統一することが望ましい。
・審判・ラインジャッジ・点示・記録・アシスタントスコアラーは審判の割り当て表の通りに行う。
・コートが濡れた場合は、基本的にコート内の選手がワipingをする。(タオルを持たせる。)モップが必要な場合は、副審の指示のもとベンチの選手で行う。
・試合(IF)終了後、5分間の合同練習を行う。その後にプロトコール。試合が連続するときは、15分試合間隔をあける。(10分コートをあけ、5分合同練習)
*熱中症対策として、WBGTの数値や選手の状況を見て、試合間隔を25分とする場合がある。
・開閉会式においては、選手はユニホームで、その他の生徒はジャージで整列する。
・各セットのどちらかのチームが13点とったときと30対30になったとき、WTO(30秒)をとる。副審がシグナルなしで吹笛をする。速やかにウォームアップエリアに移動して給水する。

8. 組み合わせ



試合開始予定時間

9:20～ 第1試合

※第2試合後、昼食の時間を設定します。

9. その他：・表彰は、優勝・準優勝(表彰必要枚数2枚)とする。

- ・優秀選手は、優勝チームから4名、準優勝チームから3名、3位チームから各1名、他チームから1名の計10名を選出する。
- ・急病やケガが発生した場合には、救護担当者が応急処置を施すが、その後は顧問や引率者で速やかに医療機関へ移送する。
- ・貴重品や荷物は各チームで責任を持って管理する。
- ・開会式閉会式を行う。開会式には全チームが出席すること。
- ・この大会の優勝校には、7月29日、7月30日にサンアリーナで行われる三重県中学校バレーボール大会の出場権を与える。準優勝校には7月19日に玉城中学校で行われる南部ブロックプレーオフ大会の出場権を与える。
- ・熱中症特別警戒アラート等が発表された場合は、大会を延期する。
- ・天候により、鳥羽市定期船菅島航路が運休や朝のみの一時運休の場合、雷注意報、熱中症警戒アラートが発表された場合は、実施または延期の判断の協議をする。その際、大会本部により6:00～6:30の間での判断とし6:30までに各校に連絡をする。
- ・会場への移動時間帯に雷注意報が出ていたり、落雷の予兆があったりした場合は、危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所に選手または関係者を待機、避難させる等、安全確保を最優先事項として常に留意する。